


9月・10月の管理ポイント

 株式会社 トモグリーンケミカル
第158号 2019年09月01日発行
当社Webサイトにて
バックナンバー掲載中
<http://www.tomo-green.com/>

まだまだ残暑が厳しいですが、少しずつ過ごしやすくなり、ベントの生育期がやってきます。9月10月は「回復」「根の十分な生育」を行う大切なシーズンです。出来る限りストレスを緩和させベントが生育しやすい環境を整えましょう。



ドライの予防と治療

ハイドレーター-G

新発売!



8月20日に販売開始した新商品です。ドライスポットの予防と治療にご使用下さい。土壤の乾燥が気になる部分に直播出来ます。1mm程度の粒剤なので、粉が舞いにくく散布しやすい剤です。安全性が高いので安心してご使用頂けます。花壇や鉢植えにもご使用頂けます。

グリーン・ティー 使用量：ドライスポットの治療 20g/m²/週 予防10g/m²/月
バンカー周り・クラブハウス周辺の芝地等 使用量：10g/m²/月
花壇・鉢植え・プランター 使用量：約10Lのプランターに小さじ1/2/月



土壤水分環境を整えましょう

レボ (REVO)

夏場のストレスでダメージを受けたベントグラスが少しずつ回復する時期です。秋の生育期に根が十分育つよう、出来るだけ早く回復させましょう。そのためには、ストレスを出来る限り減らす事が大切です。レボは、「地際を乾燥させる(病害や藻を防ぐ)」「根圏の水分を少なめに保持する(気相の割合が増えるので根が十分な酸素を得られる)」「毛管水が繋がる(根が水を吸ったら、即、周りの土壤から水が供給される)」ので、土壤水分環境を、ベントグラスの生育に適した状態に保ちストレスを軽減する効果があります。常に最適な土壤水分環境を保つため、定期散布がお勧めです。

使用量：2ml/m²/月 散布水量：200ml~500ml/m² 散布回数：1ヶ月に1回~2回



サッチの除去
土壤微生物の健全化

サッチマネージャー

本剤は自然界に存在する微生物の中からサッチ成分に対して優れた分解能力のある16種類の有用菌を選抜した微生物資材です。製剤1gあたり約400億個の菌が配合されているので、土壤中でも安定した効果が期待できます。ラフ・FWにはサッチマネージャー、殺菌剤を多用するグリーンには酵素剤サッチリムーバーがお勧めです。

使用量：ラフ・FW 0.1-0.2g/m² グリーン 0.5g/m² 散布水量 0.2-0.5ℓ/m²



弱ったベントの回復

グリーンメカ

残暑が厳しいうちは、高温によって芝の呼吸量が増加し糖を消費します。涼しくなってくると、ベントの生育期となり糖の消費量が増大します。9月10月は、糖が不足しがちになります。グリーンメカでしっかりと糖を補給しましょう。糖が十分あると根の生育が旺盛になります。

使用量：2~10ml/m² 散布水量：1ℓ/m²



土壤中の有害物質除去

光合成細菌

土壤中に発生する硫化水素やメルカプタンなどは、イヤな臭いがするだけでなく、根を痛めます。光合成細菌を処理して有害物質を除去しましょう。光合成細菌は、硫化水素などを分解するだけでなく、他の有用微生物の餌となるアミノ酸やATP、ADP(高エネルギーリン酸化合物：補酵素)などを分泌し、有用な土壤微生物の住みやすい環境を作ります。サッチリムーバーと組み合わせると、サッチを効率よく分解できます。

使用量：1~2ml 1ℓ/m²散布 月1~2回



病害予防

グリーンオキシラン水和剤

グリーンオキシランは有機銅とキャプタンが有効成分の防除剤です。更新作業後の保護殺菌としてお勧めです。着色剤入りで希釈液が緑色なので、散布した後の葉が黄色くならず、美観を損ないません。

今年最後の殺菌剤散布は幅広い病害に効くグリーンオキシラン！菌密度を下げておきましょう。

使用量：ベントグラス 希釈倍率300-500倍 1-2ℓ散布/m²

日本芝 希釈倍率500倍 1-2ℓ散布/m²

土壌水分環境を整えて根を育てる

暑い日が続いていますが、残暑が過ぎればベントグラスの生育期がやってきます
生育期間中に出来る限り根を育てましょう

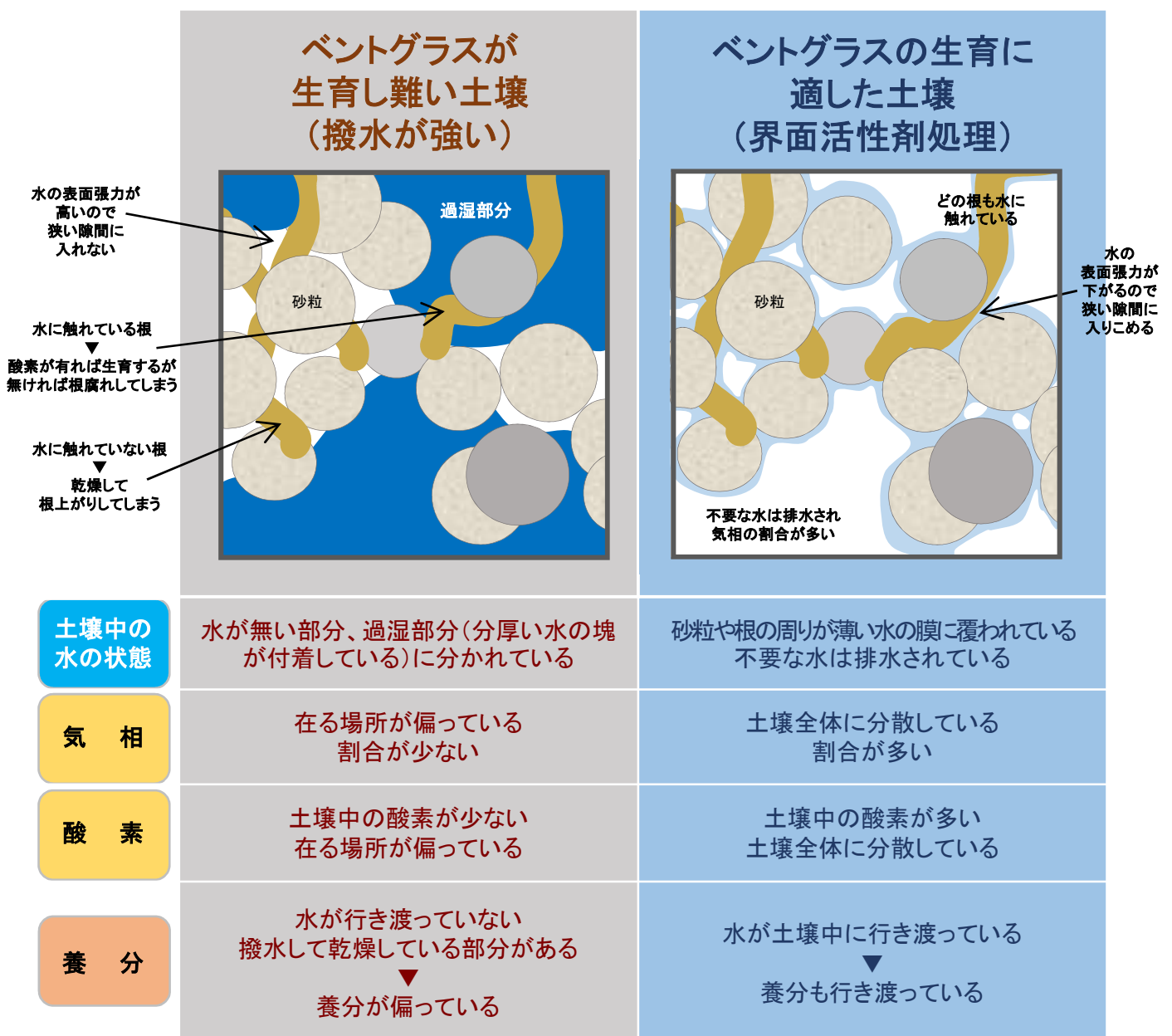
●根が生育する際に必要なもの

水

酸素

養分

土壌中には、あたり前にあるものばかりですが、ベントグラスの生育に適した状態を維持するのは困難です。意識して根が生育しやすい土壌水分環境を整えましょう！



界面活性剤を用いると、生育に適した土壌水分環境が保ちやすくなります